

## 第 22 回放送番組審議会報告

この資料は、令和 1 年 8 月 7 日に開催しました第 22 回全関西ケーブルテレビジョン(ACTV) 番組審議会の報告書です。ACTV では、「放送法 第 6 条第 1 項」の規定により、放送番組審議機関として、「ACTV 番組審議会」を設置し、自主放送番組の審議を行っております。ACTV の定例番組審議会は、年に 1 回開催しております。議題は、番組内容を中心に、編成方針、その他コミュニティチャンネル放送サービス全般に渡っております。

ACTV では、審議会で提出されたご意見・ご質問・ご要望や斬新なアイデア、感想などを番組制作の改善や編成業務の参考にさせていただいております。

### 平成 31 年度番組審議会委員（敬称略・順不同）

委員長	奈良教育大学 准教授	河本 大地
委員	朝日放送テレビ株式会社 テレビ社長室 部長	吉川 知仁
委員	鳥取県 八頭町企画課長	川西 美恵子
委員	和歌山県 国保すさみ病院 事務長	仲 哲生
委員	朝日新聞大阪本社 グループ企業担当部長	小紫 俊尚
委員	京丹後市 総務部総務課情報推進係長	金木 美由紀

日時：令和元年 8 月 7 日（水） 11：00～12：00

場所：全関西ケーブルテレビジョン 本社会議室

出席者：委員 6 名出席

（委員長）河本大地

（委員）吉川知仁、川西美恵子、仲哲生、小紫俊尚、平田有希子（代理）

（ACTV）松尾匡、松山文彦、迫田マサキ、宮崎裕也

※金木美由紀委員の代理として平田有希子氏が出席。

### 番組審議会議事

審議対象作品：当社のケーブルテレビ（コミュニティチャンネル）で放送された番組。

1. ACTV すさみ局 「RIDE ON SUSAMI 2018」(30 分)
2. ACTV 京丹後局 「今日とってもよかつ丹後」(15 分)
3. ACTV 八頭局 「文化と伝統を体感する、幻想的な晚餐 DINING OUT TOTTORI-YAZU with Lexus」(17 分)

## 審議内容

今回の審議対象番組に対する審議委員全員の感想は、「番組放送基準上、特に問題のある番組はない。」というものだった。各審議委員の意見、感想は次の通りです。

### すさみ局「RIDE ON SUSAMI 2018」

海あり山ありの映像が満載で地元の良さは充分PRできている。参加者と地元の人との触れ合いもよくわかる。ただ、各シーンでの登場人物が誰なのかわからないのでテロップがほしい、また景色も美しいのに場所がわからないのが残念、地図があれば良いなどの意見が出た。

### 京丹後局「今日とってもよかつ丹後」

吉本興業の“住みます芸人”をリポーターに起用しているので盛り上がるし、分かりやすい。番組は、後継者不足が問題の農業後継者にスポットを当てていることが良いし期待感が伝わる。またタレントも出演者も若いのでテンポが良い番組という印象だった。

### 八頭局「DINING OUT TOTTORI-YAZU」

制作費がかかったクオリティの高いインパクトの強い番組であるとの感想が多かった。映像で地元を活性化させているという印象。ロケーションの会場となった寺院の詳しい映像を見たかったという意見もあった。

今回の審議対象番組への意見としては、全体にテロップやフリップを使う丁寧な番組作りと目や耳の不自由な人への親切な番組作りを望むものが多かった。

## ACTV 制作担当者より

今年は、例年とは趣向を変えて各局とも、新たな特色のある番組を見ていただいた。

すさみ局は、外から来た人たちと地元の人たちの交流の様子を紹介した。

京丹後局は、市民をプロのお笑いタレントがレポートする番組にした。

八頭局は、完成したテレビ番組と地元取材映像をMIXし、クオリティの高い番組とした。

個性的な番組が出揃い、今年の番組審議会は充実したものとなった。

## 松尾代表取締役社長

今年の審議対象番組は、全局ともトライアルをされている印象がある。

番組審議会では、様々に貴重なご意見をたくさんいただいた。

今後番組制作は、地元住民を意識するのか、外からの目を意識するのか、そのバランスが課題となる。これからもより一層質の高い番組作りをしていきたい。

以上